

学校だより

第7号

# いつも心にあいうえお

令和7年1月17日（金）

発行：那覇尚学院  
高等専修学校  
文責：初鹿野 修



## 巳年のスタートです

巳年、蛇は、知恵深く、粘り強い性格を持つと言われています。蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。こうした意味から、巳年は新しい 挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。

私たち「那覇尚学院高等専修学校」も、新しい挑戦・そして新しい変化への姿勢を持ち、職員3名がスクラムを組んで頑張っていきたいと思えます。今年もよろしくお祈りします。 那覇尚学院高等専修学校 職員一同

### 職員の今年の抱負

教務主任 平安山雅矢

事務・パソコン担当 下地美鈴

2024年を漢字一文字でいうと **結**

- ・個人的に結婚したこともそうだし、新しい学校や業務に携わり、新しくチームを「結成」することができた。顔なじみのメンバーでチームワークを一層強く「結び」日々取り組んでいる。新しく出会えた生徒や関係者との縁も大事に「結んで」いきたい。
- ・朝ドラ「おむすび」も見始めた

2025年の抱負・どんな年にする？

- ・高等専修学校1年目に実践してきたことを継続することで、根を張り、幹を太くする。そのために、日々を丁寧に過ごすことに努める。そして新たなチャレンジをする。その一つとしてITパスポートについて学ぶ。

本校生徒へ一言

- ・2025年を迎えた気持ちはどうですか？何事においても君のことは、君が主役です。今年も有意義な時間を過ごしていきましょう。

2024年を漢字一文字でいうと **人**

- ・ここ数年は人間関係が大きく変わった年だった。年齢、国籍、性別、問わず様々な人とかかわることで、人が人を呼び、自然と人の輪がどんどん大きくなっていった。

2025年の抱負・どんな年にする？

- ・目標とする資格があるので、その資格取得と、またさらに人の輪をふやし、視野をひろげていきたい。

本校生徒へ一言

- ・自分が落ちる時も上がるときも、その多くが「人」とのかかわりの中でおきていると思っている。人からの言葉や態度に傷つき、どうにもいなくなる日もあれば、手を差し伸べてくれるのも人だったりする。しかし、手を差し伸べてくれる人たちと出会うのも、その手をつかむのも、結局は自分次第。「自分の良さ」を増やし、貫いていこう。

校長 初鹿野修

2024年を漢字一文字でいうと

**変**：私自身の教師生活の変化・高校がプラス。生徒自身の変化を観る 高等専修学校としての変化 → 今後の課題「変化への責任」

2025年の抱負・どんな年にする？

「一人も独りにしない」（生徒も保護者も職員も）の徹底 **変**化を通しての「進化・新化・深化」。民間の資格ではあるが、メンタル心理カウンセラー、不登校支援アドバイザーの取得をめざす。今を生きる。どう生きるか。その変化に期待したい。

本校生徒へ一言

本校生徒の現在の状況

12月の出席状況	
出席状況	出席 14
	遅刻 13
出席状況	出停 0
	欠席 1
出席率：93%	



遠足「久高島」2024.12.13

3度目の正直で久高島に行ってきました。12月ですが、散策で汗びっしょり

### 個別課題研究の体験授業「野焼き」

2025. 1. 16



2学期に作った粘土の作品を焼きました。通常は窯で焼きますが、「野焼き」という原始的な方法で作品を作りました。帰ったら見てあげてください。